

科目名		電気設備実習 II			
担当教員		町田 実		実務授業の有無	○
対象学科	建築設備システム科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方		1. 電気配線の接続、機器、材料、工具等の名称や機能をしっかり理解する。 2. 電気工事の技能、施工方法の基本を理解する。 3. 第2種電気工事士技能試験【技能】の対策を十分に行う。 4. 安全に留意し、技術習得まで繰り返し行い、合格基準の到達を目指す。			
学習目標 (到達目標)		・第2種電気工事士技能試験の単位作業が時間内に出来るようになる。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		第2種電気工事士技能試験 候補問題 丸わかり 電気書院			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	電源の接続 (前年度の復習) ①電線とケーブル ②配線器具の接続			方法：実習課題の説明と製作 達成目標：第2種技能試験の単位作業が出来る。 ①電線被覆の剥ぎ取り ②電線の切断と接続 ③公表問題のケーブルを配線図の通り切断することが出来る。 準備学習：教科書①②の予習	
2	各種配線工事 (前年度の復習) ①ケーブル配線工事 ②金属管工事 ③合成樹脂管工事			方法：実習課題の説明と製作 達成目標：電工2種技能試験単位作業が出来る。 ①各種工具の使い方 ②各種配管のボックスへの取付 ③ボンド線の接続が出来る。 準備学習：教科書①～③の予習	
3	電気機器及び配線器具の設置 (前年度の復習) ①コンセント回路 ②パイロットランプ及びスイッチ回路			方法：実習課題の説明と製作 達成目標：第2種技能試験の単位作業が出来る。 ①複線図が書ける。 ②器具周りの接地線取付が出来る。 準備学習：教科書①②の予習	
4	電気材料と工具 (前年度の復習) ①各種工事事用材料 ②各種工具の使用方法			方法：実習課題の説明と製作する 達成目標：第2種技能試験の単位作業が出来る。 ①複線図が書ける ②器具周りの接地線取付が出来る。 準備学習：教科書①②の予習	
5	期末テスト ・第2種電気工事士技能試験の内容でテスト			方法：第2種電気工事士過去問題より出題 達成目標：第2種電気工事士技能試験過去問題合格 準備学習：項目1～4の復習	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
定期試験	確認問題	平常点		電工第2種技能試験合格を目標とした知識、技術を伴う内容の為、理論を十分理解したうえで、機器等の安全な取扱いに留意し繰り返し、積極的に実習に取り組み技術の習得を目指す。	
90 %	5 %	5 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		電気工事士・施工管理技士として30年間電気工事の現場に係わっていた。第一種電気工事士			